

なごみ

nagomi



JA愛知厚生連
江南厚生病院

Vol.42
2018.7

INDEX

コラム

- ① 愛知県がん診療拠点病院に指定されました
- ② 皮膚科のご紹介

トピックス

認知症初期集中支援チームについて

LTFU 外来の紹介

10周年記念行事を開催しました

看護の日を開催しました

イベント紹介

院内コンサート

お知らせ

DPC 特定病院群適用について

第7回食育を考えるワークショップ・江南

がんサロン「にじの会」のご案内

公開医療福祉講座

保険証の確認について

面会時間のご案内

診療日カレンダー

病院理念

- － 私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- － 私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- － 私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

愛知県がん診療拠点病院に 指定されました

- ・専門的ながん医療の提供
- ・緩和医療の啓蒙普及
- ・がん患者に対する相談支援および情報提供
- ・地域のがん診療の連携協力体制の構築

副院長兼外科代表部長
兼第2診療部長
兼第2中央手術室部長

石樽 清



国民病ともいわれる「がん」は、日本人の死亡原因の第1位です。心疾患や脳虚血疾患の治療成績が改善してきたのに対し、がん死亡率は上昇の一途をたどっています。こうした状況を受けて国は「がん対策推進基本計画」を策定し、全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、全国に「がん診療連携拠点病院」等を指定するとともに、県指定の「がん診療拠点病院」を整備してきました。その目指すところは医療の均てん化、患者さんとその家族が納得して治療を受けられる環境整備、チーム医療の体制整備です。

当院でも毎日多くの患者さんががん治療を受けられています。H28年の当院のがん患者数は入院2,980人で外来のべ数は78,091人でした。この患者数は近隣の小牧市民病院や春日井市民病院の規模に相当します。

がん治療の基本3本柱は手術、化学療法、放射線治療です。がん領域でも腹腔鏡手術が普及しつつありますが、当院では病状の進行具合に応じて腹腔鏡手術と開腹手術を安全性と根治性の両面から検討して選択しています。化学療法の分野では新規抗がん剤や分子標的薬が次々と登場するなか、第4の柱ともいわれる免疫療法も加わりまさに日進月歩の様相を呈しています。

平成30年6月には現在ある放射線技術科の北側にトモセラピー治療棟が竣工します。放射線治療専門医のもとで今後さらに先進的な放射線治療が可能になります。がんの治療成績を少しでもよくするために、私たちはこうした最新の標準治療を最大限活用し、科学的根拠に基づいたがん治療の実践に努めています。

一方、がん診療において科学的根拠だけでは解決できない問題もたくさんあります。残念ながら医療の現場では「もう手術はできない」「有効な化学療法はない」「治せる手段がない」といった患者さんも少なからずみえます。「標準治療を使い果たしたのもううちでできる治療はありません」では、患者さんは新たな治療をしてくれる医師や病院を探し求めて途方に暮れながら彷徨う、いわゆる「がん難民」になってしまいます。

今回のがん診療拠点病院では「専門的ながん医療の提供」だけでなく、こうした社会問題にも重点をおいています。今までのがん医療では「がんを治す」ということばかりに関心が向けられ、患者さんの心のつらさには十分に対応ができていませんでした。そのせいか緩和医療というと終末期の疼痛治療といった負のイメージがつきまとうものでした。しかし、現在では患者さんを病気の側面からだけとらえるのではなく、「その人らしさ」を大切にして身体的・精神的・社会的・霊的な苦痛についても和らげる全人的な医療やケアが求められています。



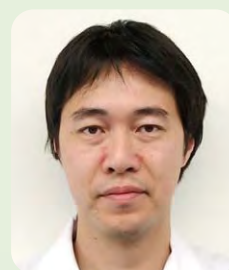
がんと診断された早い時期からこうした患者さんと家族を支える本来の緩和医療を実践するために、当院では20床の緩和ケア病棟を整備するとともに、複数の職種からなる専属の緩和ケアチームが皆様をサポートします。また、当院の患者さんに限らず地域のがん患者さんからのさまざまな疑問や相談に対応できるよう「がん相談支援センター」を設置してがん治療に関する相談支援や情報提供にも努めています。

社会の高齢化とともにこの地域のがん患者さんは今後ますます増加することが予想されます。主治医個人では十分な緩和医療が提供できないのと同様、中核病院だけですべてのがん患者さんによりよい医療を提供するのは限界があります。今後はがん診療においても地域の病診連携・協力体制が必須です。江南厚生病院は地域の先生方ともさらに密に連携を深め、継続した質の高いがん診療をリードしていきたいと考えています。



column
コラム2

皮膚科のご紹介



皮膚科 医長
村松 伸之介

当院の皮膚科は、名古屋市立大学の連携施設として、本年4月より日本皮膚科学会専門医1名を含む2名の常勤医による診療を行っています。

皮膚科では、体表の皮膚に関わる疾患を扱うことはもちろんのこと、さらには皮膚に現れるさまざまなサインから、他の臓器にかかわる疾患を見いだしていきます。発熱や関節痛などの他の症状があっても、皮膚を診ることで、早期且つ比較的簡単に診断がつき、治療を開始できる病気もあります。皮膚、粘膜の変化を伴う症状や症候を診察し、以下にあげる疾患など、幅広い診療を提供します。

アトピー性皮膚炎、乾癬、掌蹠膿疱症、尋常性白斑、自己免疫性水疱症（天疱瘡、類天疱瘡）、膠原病、皮膚悪性腫瘍、皮膚リンパ腫、菌状息肉症、皮膚潰瘍、薬疹、带状疱疹、細菌感染症、接触皮膚炎

当院では主に、皮膚科クリニックで診断・治療が困難な症例において、臨床像から想定される皮膚疾患診断の為に各種検査（皮膚生検や各種採血、画像検査）などを実施し、適確に診断を行った上で患者さんと相談し、それぞれの患者さんごとに最適な治療を選択し、満足していただける医療の提供を目指しています。治療法については、一般的な外用療法や内服療法、手術療法に加え、紫外線療法や、近年アトピー性皮膚炎・じんましん・乾癬に対して使用可能となった生物学的製剤による治療も可能となっています。

地域の皆様に常に安全・安心かつ最先端の医療を提供できるよう、スタッフ一同尽力して参りますので、今後ともよろしくお願いたします。



ご存じですか？認知症初期集中支援チーム

皆さんの周囲で、このような悩みを抱えている方はみえますか？

「もの忘れを指摘すると怒り出すから、対策がとれない…」

「本人がサービス利用を嫌がって、四六時中一緒。1対1の介護で、かなり疲れた…」

「怒ったり、泣いたり、暴れたりと、どう対応したらいいのかわからない…」など

そういった認知症に関する相談先として、今年4月から全市町に「認知症初期集中支援チーム（以下、集中チーム）」が設置されました。集中チームの特徴は、40歳以上の認知症、もしくはその疑いがある方に対して、医療と介護の各専門職種と必要に応じて医師が複数で訪問し、約6ヶ月間で集中的にチーム支援を行うことです。

「初期」の意味は認知症の「初期」と相談につながった際に「初期」に対応する、という二つの意味があります。「認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けていける」よう、まずはお住まいの地域の認知症地域支援推進員や、地域包括支援センターへ相談してみてください。



がん患者さんのQOL向上への取り組み ～LTFU（移植後長期フォローアップ）外来の紹介～



当院は、白血病や再生不良性貧血などの血液難病の患者に対して、尾張北部医療圏において、唯一、同種造血幹細胞移植（以下、移植）ができる施設として、年間約15件の移植をおこなっています。

近年では移植治療の進歩により、移植後患者さんが長期生存できるようになってきました。LTFU外来は移植後の節目となる時期（移植後半年、1年、以後1年ごと）に、移植後患者さんの晩期合併症の評価や定期スクリーニングを行うとともに、患者さんのセルフケアに対する支援や療養生活に関するアドバイスを行い、移植後長期生存患者さんの生活の質（QOL）の向上を図ることを目的としています。

当院でも、2013年5月よりLTFU外来を開設し、年間100名を超える患者さんが受診されています。当院LTFU外来では、胸部レントゲン・心電図・肺機能・骨密度計測・採血などの検査と、眼科・口腔外科診察を行った後に、その結果をもとに、LTFU担当看護師が30分間の問診と面談を行い、患者さんに必要な支援を行います。その支援の内容は、慢性GVHD（移植片対宿主病）の早期発見、食事・栄養指導、リハビリ指導、皮膚ケア指導、ホルモン補充療法の提案、二次がん検診の案内、ワクチン接種の案内、社会復帰・復学支援、性生活への支援と多岐に渡ります。LTFU担当看護師は、患者さんの個別性を重視し、必要時は、他専門職種の協力を得ながら、支援内容を考えています。その後、移植専門医が診察を行い、総合的な診断を行っています。

今後も、移植患者さんの生活を支えるため、多職種協働してLTFU外来を行っていきたいと思っています。

DPC特定病院群適用について

平成30年4月の診療報酬改定に伴い、DPC対象病院が厚生労働省より発表され、当院はDPC特定病院群に指定されました。

DPC対象病院は全国に1,730病院あり、その機能や役割に応じて、大学病院本院群（82病院）、DPC特定病院群（155病院）、DPC標準病院群（1,493病院）に分けられています。DPC特定病院群は、大学病院本院なみの高度な医療を提供している病院が該当します。江南厚生病院は、今後もDPC特定病院群に相応しい病院として尾張北部医療圏の地域医療を守るため、地域の医療機関と連携し質の高い医療を提供してまいります。

10周年記念行事を開催しました

当院は、平成30年5月で開院10周年を迎え、5月19日に病院記念行事を開催しました。講堂では、公開医療福祉講座や脳トレエクササイズ、Mrs.ティンカーベルによるミュージックベルコンサート、外来フロアでは各部門のポスター展示、病院見学・体験ツアー、JA特産物即売コーナーなどを開催しました。来場された方からは、「講演会はどれもわかりやすく、興味深かった」「脳トレが楽しかった」「普段見られないところを見学できてよかった。特にヘリポートはすごかった」などの感想をいただき、盛況のうちに終了しました。ありがとうございました。



看護の日 健康相談コーナー

看護の日を開催しました

5月18日・19日の2日間にわたり看護の日を開催しました。看護の日は、ナイチンゲールの誕生日（5月12日）を記念して行われる看護職のイベントの一つです。今回は、「看護の心をみんなの心に～10年間の感謝を込めて～」をテーマに、看護部の各部署紹介のポスター展示、健康相談、ちびっこ白衣体験、笑いヨガ、オカリナコンサートなどの催し物を行い大変賑わいました。

今年初めて開催した『笑って元気！笑いヨガ』は、3名のインストラクターさんが会場の皆さんを巻き込んで楽しく取り組むことができました。お帰りの際には皆さんが笑顔になっていたのが印象的でした。またボーニ・アミーチによるオカリナコンサートでは、素敵な音色に心が癒されました。

今年は病院の10周年記念行事と同時開催となり、健康相談コーナーでは骨密度の測定や健康・栄養相談を受け付けました。特に骨密度は人気が高く、測定値を知らされた皆さんが「若い！」と喜んだり、「年齢より老けている…」と落ち込んだりして盛り上がっていました。

地域の皆さんの御協力のおかげをもちまして、開院して10年を迎えることができました。みなさまからの感謝の言葉をいただき、やりがい感を持って看護させていただくことができていることを改めて実感しました。これからも地域の皆様のお役に立てよう頑張っていきたいと思います。



ボーニ・アミーチ



笑いヨガ



イベント紹介

院内コンサート Concert

1月30日
(火)

ボーニ・アミーチ

オカリナ四重奏。色々な大きさのオカリナを操り、すてきなハーモニーが生まれていました。この楽器だからこそ生まれる音は、まさに癒しの音色です。



3月20日
(火)

リズムロ コンサート

クラシックギターの音と電子ドラムのリズムに合わせて、気付けば歌を口ずさんでいました。聴いているだけで不思議と優しい気持ちになれる、そんなライブになりました。



主催：愛知県厚生連江南厚生病院

第7回 食育を考えるワークショップ・江南

参加費：無料
(事前登録不要)

日時 平成30年9月1日(土)
14時30分～16時30分

会場 江南市民文化会館(大ホール)
愛知県江南市北野町川石25-1 TEL(0587)55-2321

第1部：地域における食育活動報告 第2部：特別講演「アスリートにみる食の秘密」



(講師) しばた てるみ先生

(株)しよくスポーツ 代表取締役。公認スポーツ栄養士、管理栄養士、健康運動指導士。「ルミさん」の愛称で親しまれ、メディアでも活躍する公認スポーツ栄養士。Jリーガーをはじめとするトップアスリートの栄養サポートを手がける一方、企業の健康づくりにも関与。大学・企業・行政などと連携した食育活動「食育アドベンチャー@ランド」を10年以上主宰、地域食材を活用した料理プロデュースや商品開発、セミナー講師など幅広く活躍中。
・世界一受けたい授業(日本テレビ) ・おはよう日本、あさイチ(NHK) など 多数出演。

お問い合わせ先・・・

江南厚生病院栄養科(担当:朱宮) TEL(0587)51-3333(代表)

平成30年度 中間やがんに詳しいスタッフと不安や悩みを語り合いませんか? がんサロン「にじの会」のご案内

- 対象 **がんを患っている患者さん**
あるいは、**そのご家族**
- 内容 10:00～10:30 プチ講座(2か月毎に内容を変更します)
10:30～11:30 参加者同士の交流会

参加費
無料

●日程とプチ講座のテーマ

日時(予定)	テーマ(仮)	担当
6/2(土)、7/3(火)	気軽にできるストレスケア	緩和ケア認定看護師
8/4(土)、9/4(火)	正しく知ろう! 抗がん剤治療の副作用と生活の工夫	がん化学療法看護 認定看護師
10/6(土)、11/6(火)	がん治療中の筋力維持の工夫	理学療法士

- 場所 外来2階 多目的室 ※外来用エレベーター前
- 参加方法 自由参加

<お問い合わせ先> 患者相談支援センター(がん相談)
TEL(0587)51-3346 FAX(0587)51-3317
E-メール:gansodan@konan.jaaikosei.or.jp

2018 公開医療福祉講座

- 場所：江南厚生病院 2階講堂
- 時間：13:30～14:30
- 日程と内容

7月26日(木)	放射線技術科 放射線治療係長 小田 康之
8月6日(月)	こども医療センター長 副院長 西村 直子
9月6日(木)	呼吸器内科 副院長 山田 祥之

お問い合わせは・・・江南厚生病院
「患者相談支援センター」堀田・梶原 まで
TEL 0587-51-3310

●保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付か新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

●面会時間のご案内

平 日	土・日曜日・祝日
15:00～20:00	13:00～20:00

※多人数室の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように談話コーナーなどをご利用ください。

※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

2018年(平成30年) 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です) ■ 午後休診

7月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
						2
						3
						4
						5
						6
						7
						8
						9
						10
						11
						12
						13
						14
						15
						16
						17
						18
						19
						20
						21
						22
						23
						24
						25
						26
						27
						28
						29
						30

発行日/平成30年7月1日

発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL(0587)51-3333 FAX(0587)51-3300